

松山市泊町の興居島産の「興居島レモン」の魅力発信に取り組むNPO「MARS24」(同市)による初めての授業があり、全校児童24人が、講師の愛媛大生3人から特長やおいしさの秘密を学び、畑で収穫を体験した。

座学では、興居島レモンが「まつやま農林水産物ブランド」に認定され、爽やかな酸味と甘みが特長で、約30軒の農家が50トント近く生産していると学習。児童は、知名度アップへポスターやチラシの作成などを考案した。

生産者の中川博さん(74)の畑では、日光が当たるよう気を付けて剪

読もう!



興居島レモン 収穫に笑顔 松山の地元児童挑戦



興居島レモンの収穫を体験する児童

定していることなどを熱心にメモ。黄色く色づいた美をほざみで丁寧に摘み取つた。

5、6年生11人は調理実習も行い、取れたでレモンを使ったホットケー キやレモネードを味わつた。6年の夏井真貴さん(12)は「一つ一つ丁寧に収穫している農家の人に

興居島レモンを見かけたら買って家でも料理を作つてみたい」と話した。

MARS24の中奥龍樹代表(21)は「知名度向上には島の人たちに知つてもらうのが第一歩。地域活性化につなげたい」と展望した。

（亀井咲希）